

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【公表番号】特表 2002-506044 (P2002-506044A)
 【公表日】平成 14 年 2 月 26 日 (2002.2.26)
 【出願番号】特願 2000-535362 (P2000-535362)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/475 (2006.01)

C 0 7 K 14/51 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 1 2 N 5/00 B

C 0 7 K 14/475

C 0 7 K 14/51

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筋肉関連疾患を治療するための組成物であって、有効量のフォリスタチンまたはその機能的フラグメントを含む組成物。

【請求項 2】

疾患が筋ジストロフィー、先天性筋障害、先天性筋強直、家族性の周期性まひ、けいれん性ミオグロビン尿症、重症筋無力症、Eaton-Lambert 症候群、続発性筋無力症または脱神経性萎縮から選択される請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

該疾患が筋ジストロフィーである請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】

該筋ジストロフィーが X 連鎖筋ジストロフィー、肢帯筋ジストロフィー、顔面肩甲上腕ジストロフィー、筋強直性ジストロフィー、末梢筋ジストロフィー、進行性のジストロフィー性眼筋まひ、眼球咽頭ジストロフィーまたは Fukuyama 型先天性筋ジストロフィーから選択される請求項 2 記載の組成物。

【請求項 5】

非変性性の神経系疾患を治療するための組成物であって、有効量のフォリスタチンまたはその機能的フラグメントを含む組成物。

【請求項 6】

疾患が脊髄、神経系または筋肉系に対する外傷性または慢性の傷害である請求項 5 記載の組成物。

【請求項 7】

疾患が外傷性の傷害である請求項 6 記載の組成物。

【請求項 8】

疾患が慢性の傷害である請求項 6 記載の組成物。

【請求項 9】

傷害が脊髄に対するものである請求項 7 または 8 記載の組成物。

【請求項 10】

傷害が神経系に対するものである請求項 7 または 8 記載の組成物。

【請求項 11】

傷害が筋肉系に対するものである請求項 7 または 8 記載の組成物。

【請求項 12】

傷害が感染、血管の疾病、外傷、代謝障害、先天性奇形または腫瘍から選択される請求項 6 ~ 11 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 13】

疾患がてんかん、脊髄空洞症、末梢ニューロパシー、先天性奇形または腫瘍から選択される請求項 5 記載の組成物。

【請求項 14】

疾患が感染、血管の疾病、外傷、代謝障害、先天性奇形または腫瘍に関連したものである請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 15】

組織または細胞に対する成長および分化因子 8 (G D F - 8) の影響に関連した疾患を治療するための組成物であって、フォリスタチンまたはその機能的フラグメントを含む組成物。

【請求項 16】

組織または細胞に対する骨形態形成蛋白 11 (B M P - 11) の影響に関連した疾患を治療するための組成物であって、フォリスタチンまたはその機能的フラグメントを含む組成物。

【請求項 17】

細胞が神経細胞、ニューロン細胞および筋肉細胞から選択される請求項 15 または 16 記載の組成物。

【請求項 18】

組織が骨、軟骨、腱、靱帯、筋肉、脂肪細胞、神経およびニューロン組織から選択される請求項 15 または 16 記載の組成物。

【請求項 19】

組織または細胞が筋肉性である請求項 15 記載の組成物。

【請求項 20】

組織または細胞が神経性またはニューロン性である請求項 16 記載の組成物。

【請求項 21】

フォリスタチンまたはその機能的フラグメントがヒトフォリスタチンまたはその機能的フラグメントである請求項 1 ~ 20 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 22】

フォリスタチンがヒトフォリスタチンである請求項 21 記載の組成物。

【請求項 23】

ヒトフォリスタチンが F S - 288、F S - 315 および F S - 303 から選択される請求項 22 記載の組成物。

【請求項 24】

インビトロにおいて組織または細胞に対する成長および分化因子 8 (G D F - 8) の影響をモジュレーションする方法であって、フォリスタチンまたはその機能的フラグメントを与えることを含む方法。

【請求項 25】

インビトロにおいて組織または細胞に対する骨形態形成蛋白 11 (B M P - 11) の影

響をモジュレーションする方法であって、フォリスタチンまたはその機能的フラグメントを与えることを含む方法。

【請求項 26】

インビトロにおいて組織または細胞に対する成長および分化因子 8 (G D F - 8) の影響をブロックする方法であって、フォリスタチンまたはその機能的フラグメントを与えることを含む方法。

【請求項 27】

インビトロにおいて組織または細胞に対する骨形態形成蛋白 11 (B M P - 11) の影響をブロックする方法であって、フォリスタチンまたはその機能的フラグメントを与えることを含む方法。

【請求項 28】

細胞が神経細胞、ニューロン細胞または筋肉細胞から選択される請求項 24 ~ 27 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 29】

組織が骨、軟骨、腱、靱帯、筋肉、脂肪細胞、神経およびニューロン組織から選択される請求項 24 ~ 27 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 30】

フォリスタチンまたはその機能的フラグメントがヒトフォリスタチンまたはその機能的フラグメントである請求項 24 ~ 29 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 31】

フォリスタチンがヒトフォリスタチンである請求項 30 記載の方法。

【請求項 32】

ヒトフォリスタチンが F S - 288、F S - 315 および F S - 303 から選択される請求項 30 または 31 記載の方法。

【請求項 33】

筋肉関連疾患を治療するための医薬の製造におけるフォリスタチンまたはその機能的フラグメントの使用。

【請求項 34】

疾患が筋ジストロフィー、先天性筋障害、先天性筋強直、家族性の周期性まひ、けいれん性ミオグロビン尿症、重症筋無力症、Eaton-Lambert症候群、続発性筋無力症または脱神経性萎縮から選択される請求項 33 記載の使用。

【請求項 35】

該疾患が筋ジストロフィーである請求項 34 記載の使用。

【請求項 36】

該筋ジストロフィーが X 連鎖筋ジストロフィー、肢帯ジストロフィー、顔面肩甲上腕ジストロフィー、筋強直性ジストロフィー、末梢筋ジストロフィー、進行性のジストロフィー性眼筋まひ、眼球咽頭ジストロフィーまたは Fukuyama 型先天性筋ジストロフィーから選択される請求項 34 記載の使用。

【請求項 37】

非変性性の神経系疾患を治療するための医薬の製造におけるフォリスタチンまたはその機能的フラグメントの使用。

【請求項 38】

疾患が脊髄、神経系または筋肉系に対する外傷性または慢性の傷害である請求項 37 記載の使用。

【請求項 39】

傷害が感染、血管の疾病、外傷、代謝障害、先天性奇形または腫瘍から選択される請求項 38 記載の使用。

【請求項 40】

組織または細胞に対する成長および分化因子 8 (G D F - 8) の影響に関連した疾患を治療するための医薬の製造におけるフォリスタチンまたはその機能的フラグメントの使用

。

【請求項 4 1】

組織または細胞に対する骨形態形成蛋白 1 1 (B M P - 1 1) の影響に関連した疾患を治療するための医薬の製造におけるフォリスタチンまたはその機能的フラグメントの使用

。

【請求項 4 2】

細胞が神経細胞、ニューロン細胞および筋肉細胞から選択される請求項 4 0 または 4 1 記載の使用。

【請求項 4 3】

組織が骨、軟骨、腱、靱帯、筋肉、脂肪細胞、神経およびニューロン組織から選択される請求項 4 0 または 4 1 記載の使用。

【請求項 4 4】

フォリスタチンまたはその機能的フラグメントがヒトフォリスタチンまたはその機能的フラグメントである請求項 3 3 ~ 4 3 のいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 4 5】

フォリスタチンがヒトフォリスタチンである請求項 4 4 記載の使用。

【請求項 4 6】

ヒトフォリスタチンが F S - 2 8 8 、 F S - 3 1 5 および F S - 3 0 3 から選択される請求項 4 5 記載の使用。